



1947年7月1日生まれ。15歳でモトクロスデビューし、17歳でプロライダーになる。全日本選手権でタイトルを獲得後、ニッサンのワークスドライバーテストに合格し4輪に転向。74年、全日本F2000選手権でタイトルを獲得し、その後ツーリングカー、フォーミュラのレースで数々のタイトルを勝ち取り、「日本一速い男」と呼ばれる。1980年にはホシノインパルを設立し、その経営とともに、現在は監督業に専念している。

ファッションもクルマも、シンプルで清潔感があるものが好きだね。クルマもキレイにしないで気が済まない。

星野一義(以下:義):僕は靴にしても、洋服にしても、シンプルで清潔感があるものが好き。女性も、あれこれ着飾っている人よりナチュラルな人が好きだね。だからクルマも一緒に、シンプルなデザインが好きだし、クルマの中には何も置かない。もちろんピカピカにキレイにしておかないと気が済まない。今回、自分のクルマにもダイヤモンドキーパーをかけてもらったんだけど、めちゃくちゃキレイになってびっくりしたよ。コーティングをこれまでしたことがなかったから、「たいしたことない」やっても意味ないだろう」と思っていたんだけど、食わず嫌いだったね。雨の日でも全然汚れず、むしろ雨が降ってキレイになるくら

いだから。ずっと汚れが落ちる。新車の時にやった方がいいんじゃないかな?

星野一樹(以下:樹):僕は今まで2回くらいコーティングをしたことがあるんですけど、ダイヤモンドキーパーは全然違いました。輝きが明らかに違うって見た瞬間に分かりました。ボディが黒だから余計に際立つのかもしれないけど、乗って始めて1年くらい経つんですけど、また新車に乗れる喜びを味わいました。新車から買った方がいいのか、途中でやって新車の気分を味わうか...。長くキレイに乗るのであれば、新車のときにかけるのがいいのかもしれないね。手入れも楽になるし。

義:今年、東京オートサロン2018で行われた「東京国際カスタムカーコンテスト」のセダン部門で、一樹がデザインに携わったフーガのカスタムカーが最優秀賞をもらったんだけど、このクルマにもダイヤモンドキーパーをかけたから、繊細なラインの美しさが際立ってすごくいいよね。

樹:賞をいただいたときは本当にうれしかったです。デザインの勉強を特にしたわけではありませんが、デザイナーさん

にイメージを伝えながら、細かいところにもこだわりました。スポーツとエレガントの融合を意識して、カスタムであることを気付かせない洗練されたデザインにしました。

義:僕は中学校のとき、野球をやっていたんだけど、そのうちバイクの方が面白くなった。初めて買ったのはホンダのベリンリイ。親に「買って欲しくない」と学校へ行かない」と駄々をこねて、4日間学校を休んでようやく買ってもらった。その頃から努力家だったんだよ(笑)。自宅のあった静岡県から東京まで走ったよ。それをきっかけにモトクロスをはじめてプロになった。実家の和菓子屋も潰れ、自力で這い上がるしかない静岡から単身で出てきて、必死で働いて、身体を張ってレースに挑んだ。チャンピオンをいくつか獲得したら、ニッサンから「4輪をやらな



1977年10月13日生まれ。帝大4年生のときからレースキャリアをスタート。2000~2001年はイギリスへ留学、帰国後全日本F3選手権に参戦し、2003年からは全日本GT選手権(現SUPER GT)GT300クラスとスーパー耐久のクラスを走る。2008年、2010年にはGT300クラスチャンピオンを獲得。今年、GT300クラスのドライバーを務めるかたわら、日産の若手ドライバー育成やレースチームの運営、コンセプトカーのデザインにも携わる。

「明らかに輝きが違う!」って、見た瞬間にわかりました。新車のときにかければ、手入れも楽になりそうですよね。

Special Interview

愛車に乗りはじめて1年。今までのとはぜんぜん違う。新車に乗る喜びを味わえました。

キーパー、おすすめするよ。キーパープロショップをやりたくらいだもん(笑)。

レーシングドライバー
株式会社ホシノインパル取締役

チームインパル監督
株式会社ホシノインパル代表取締役社長

星野 一樹

星野 一義

HOSHINO KAZUKI

HOSHINO KAZUYOSHI

現役時代、「日本一速い男」と呼ばれた元レーシングドライバー、現在はチームインパルの監督として活躍する星野一義さんはレース中の熱血漢とは打って変わって、人を楽しませる気遣いとユーモアのあるジェントルマン。一義さんの息子、星野一樹さんはGT300クラスのドライバーを務めながら、レースチーム運営やカスタムカーのデザインまでをこなすマルチな才能の持ち主。お2人のおクルマとフーガのカスタムカー「IMPUL 651S」にダイヤモンドキーパーを施工させていただき、お話を伺いました。



2018年「東京国際カスタムカーコンテスト」のセダン部門で最優秀賞を獲得したフーガのカスタムカー「IMPUL 651S」